



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.7 令和5年11月1日号

収穫の秋

校長 上統 昌司

朝夕の空気の冷たさが徐々に強くなり、秋の深まりを感じられるようになってきました。学校生活においても、ここまでの取組が大きな成果として表れ、「収穫の秋」の到来を感じさせてくれています。

9月末から始まった新人体育大会では、2年生が中心となって初めての公式戦として挑み、普段の学校生活とはまた違った表情で、最後の最後まで諦めず、集中力を切らすことなく競技している姿を見ることができました。3年生がいなくなったチームで、次は「自分たちが引っ張っていくんだ」という意気込みを感じ、頼もしく思います。

それから、24日にはさいたま市駅伝競走大会が行われ、各中学校代表チームの熱き闘いが繰り広げられました。1年生から3年生までの、いろいろな競技種目の選手で編成した駅伝チームは、日を追うごとに仲間意識が高まり、短い期間の中で素晴らしいチームワークを築いていきました。駅伝大会当日は快晴の空の下、1秒でも速く次走者へ襷を繋ぐと懸命に走る姿が印象的でした。また、サポートに回った生徒の大きな声援をおくる姿も目に焼き付いています。

そして、10月27日には久喜総合文化会館において合唱コンクールを無事開催することができました。多くの保護者の方にも参観していただき、盛大に実施できたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

歌の練習は、音楽の授業だけではなく、昼休みや放課後の時間を使って、パートリーダーや指揮者が中心となって取り組んできました。1・2・3年生合同の縦割り練習も組み込み、お互いに刺激を受けながら練習する場面もありました。そして当日は、どのクラスもそれぞれに良さがあり、甲乙つけ難い素晴らしい合唱を聴かせてくれました。心のこもった歌声は、その歌詞の意味を更に輝かせ、聴く人の心に染み渡ります。何より、生徒みんなが合唱コンクールを楽しんでいたこと、生き生きと取り組んでくれたことが最高の喜びです。この取組を通じて培った絆を、これからの生活に活かすことで合唱コンクールの大きな目標は達成されることを忘れないでください。まさに「収穫の秋」と呼べる10月を象徴する行事でもありました。